２０１９年（令和元年）６月１７日（月）富山新聞

富山ワイド

災害避難で施設提供

常願寺川公園SC 舟橋村と協定

舟橋村と常願寺川公園スポーツクラブ（SC）は16日、災害発生時にクラブの施設を避難所として提供することを定めた協定を結んだ。同村東芦原の高平メモリアル常願寺スポーツパークで調印式を行い、協力態勢を確認した。

協定では、舟橋村で地震や風水害が発生し、住民避難の必要が生じた場合、クラブは本拠地のスポーツパークのグラウンド、クラブハウスを避難場所として開放し、村とクラブの職員が協力して対応するとしている。

調印式では、金森勝雄村長が「災害はいつ発生してもおかしくない。村民の安全安心を守る態勢が実現し、うれしく思う」、平木柳太郎会長が「協定を機に、多くの人にパークに集まってもらう機会を増やしたい」とあいさつした。

調印した協定書を示す金森村長（左）と平木会長＝舟橋村東芦原の高平メモリアル常願寺スポーツパーク